

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026.01.08(木)

事業コード	25-G-06	学校名	高山市立清見中学校	住 所	高山市清見町三日町477-1
実施日	10月7日(火)13:20~15:35			受講児童生徒数	55名(1~3年生)
開講職種数	5職種	指導者数	8名	参観保護者数	0名

学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→ ・中学校の教科だけでは経験することができない貴重な経験が、今回の「未来の技能者育成事業」では体験することができ、大変ありがたい事業である。飛騨高山の地は伝統的な産業や工芸品もあるが、その歴史や高い技術力を知らない、触れていない生徒が多くいることも現状である。

会場担当教員アンケートの結果（5会場の先生）

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →

②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →

④全く伝わらなかった →

2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

- ・ペットボトル発電器の取り組みを通して、理科系の内容についても、かなり興味を持って質問などをしながら取り組むことができた。
- ・指導者が川崎重工や三菱関係の会社に勤めていたことから、自動車に興味ある生徒は、車の内容についても質問する姿があった。
- ・将来の自分自身の仕事の内容についても、気になる生徒がいたので、キャリア教育の視点からも大変意義のある取り組みであった。(電子機器組み立て会場)
- ・生徒たちは、あまり多くの職業について知りません。実際に働いている方から直接体験しながら教えていただける時間は貴重です。将来の夢を考える時に、さまざまな選択肢が増えしていくことが、今後の学習意欲にもつながってよいと思います。講師の皆さまの熱い気持ちが伝わる内容で、私たち教師にとって多くの学びを得る時間でした。ありがとうございました。(和裁会場)
- ・自然が身近にありながらも、将来の職業としてあまり考えていなかった生徒が、何かしらの形でこれからも木工に関わりたいとこれまで以上に興味をもって将来や自然について考えるきっかけになった。
- ・将来木工に関わりたいとずっとと思っていたわけではないけど、実際に仕事にし、やりがいを感じているという講師の方の話から、将来について不安を感じている生徒は安心し、まずは一度挑戦してみたいという思いになった。(家具製作会場)
- ・本物に触れられるという非常に有意義な時間となった。(畳製作会場)
- ・「本物」に触れるという点で、生徒にとって大変有意義な時間になりました。また、仕事には厳しさも必要だという点や、目標から逆算して人生設計する大切さも学校教育と重なる部分がありました。(貴金属装身具製作会場)

指導者アンケートの結果（5職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

5

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしかりましたら、お聞かせください

- ・生徒にケガなく安全に授業を終えることができたので、概ね良好であった。ものづくりの楽しさを教える為に、もっと体験授業の機会を増やしてほしい。(電子機器組み立て職種)
- ・この事業が続くことで子供達が多く職業に触れる・知る機会になることが一番大切と感じました。経験することで初めて分かること、やはり物を作り上げた喜びや、これが楽しかった・嬉しかったと思えることで好きになってもらい、将来の自分の進路を決める時に考えていただけたとよいと思います。(和裁職種)
- ・昨今は人材確保が非常に厳しい状態が続いている。また、若者がなかなか職業に定着しない問題もあります。本年度より会社のアピール等を取り入れていただきありがとうございます。今回のようにアシスタントを取り入れるのも良いかと思われます。※今回、家具製作職種では、間もなく開催される技能五輪全国大会に岐阜県代表として出場する若手社員2名がアシスタントとして参加し、指導補助やPRスピーチを行った。(家具製作職種)
- ・職業界においても高齢化が進むと同時に、後継者がいないといった状況になっています。当組合においても、高齢化が原因で廃業される方も少なくありません。今後、職の張り替えをお願いするにも県内に店が少なく、県外のお店に頼まなくてはならないといった事態にもなりかねません。今ならまだ間に合うのではないかと思います。
- ものづくり体験授業を継続していくことにより、職人(物を作る)という職業が見直され、その道に進む子供も増えてくるのではと思います。ものづくりの楽しさを知つてもらう良い機会だと思いますので、是非とも継続してください。(職業製作職種)
- ・時間の関係や工具類の準備、材料の金銭的な問題があるので難しいですが、もう少し貴金属加工や宝石等に沿った体験も出来たらと思います(貴金属装身具製作職種)

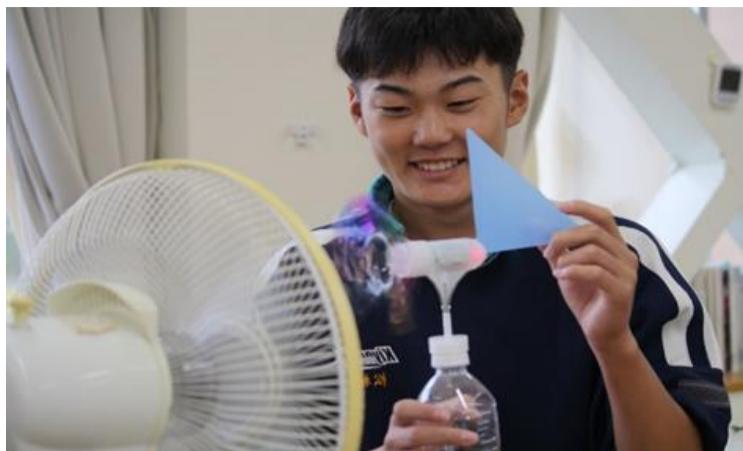
会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	電子機器組み立て	和裁	家具製作	職業製作
指導者数	1	2	2	2
受講児童生徒数	12	11	11	10
回答	とても満足した	10	11	11
	ある程度満足した	2	0	0
	あまり満足できなかった	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0
	合 計	12	11	11
				10

	貴金属装身具製作	合計(左:人 右:%)	
指導者数	1		8
受講児童生徒数	11		55
回答	とても満足した	11	53 96.4
	ある程度満足した	0	2 3.6
	あまり満足できなかった	0	0 0
	満足できなかった	0	0 0
	合 計	11	55 100

電子機器組み立て会場の様子



先生の感想

- ・物を作ることの楽しさを学ぶことができた。
- ・組み立てをしていく中で、わくわく感や達成感を味わうことができて大変良かった。
- ・指導者の方が、ものづくりの楽しさや喜びの話をするとき、いつも笑顔で話してみえたので、本当にものづくりが好きなんだと強く感じた。
- ・自分も将来大人になったとき、指導者の先生のように、自分の仕事に誇りをもって頑張れる人間になりたい。
- ・大変すばらしい内容であった。生徒たちも意欲的に取り組んでいた。
- ・ペットボトルの風力発電器づくりを、楽しそうに取り組んでいた。

児童生徒の感想

- ・先生の話を聞いて、学校生活に必要な事と、仕事をするうえで必要なことが同じであったので、これらを私生活にも活かしていきたい。
- ・ペットボトルのキャップを取って作業するなど、自分が作業しやすいように工夫した。
- ・自身の失敗について熱く話していただいて、とても自分のためになった。
- ・組み立てなどが楽しく、話も企業の話やロケットの話が聞けたのでとても参考になった。
- ・はんだ付けが上手くできて、プロペラは最初あまりよく回らなかったけど、改善してよく回るようになったので嬉しかった。
- ・目標を持って、それを達成できたらレベルアップしていくことや、失敗をして人は成長するなどと話されていて、そこが印象に残った。
- ・作ったものが実際に使えたとき、とても嬉しくて楽しかった。安全第一で作業をしてくださったので、安心して取り組むことができた。
- ・私は失敗したからやめようと思ってしまうことがあったから、今日のお話で「失敗から学ぶ」ということを知ったので、失敗しても諦めずに何回も挑戦したいと思った。
- ・風力発電するものを初めて作ったけど、物を作る中でのワクワクや、完成したときの達成感など、ものづくりの魅力をとても感じた。

和裁会場の様子



先生の感想

- ・子供たちの感想を読むと、着物の歴史や、左の方が格が高いなどの日本古来の考え方を教えていただいた勉強になったということ、袋を縫った体験から、さまざまな形があることの驚きや今後もやってみたいという意欲につながっていました。また、浴衣の着付けでは、着物の細かいところに名前がついていることの驚きや、自分ではなかなかやれなかった体験をしてみて、自分でもやってみたいという気持ちになったようです。講話の中や縫い方のアドバイスをしていただくとき、着付けのご指導をいただくときを通して、常に和裁としての見方や考え方を補足説明しながらお話し下さいました。子供たちの将来につながっていくように、皆様の体験をつなげてお話し下さいたため、分かりやすく、子供たちも新しい視点で考えることにつながりました。講師の方がどのようにこの道を目指したのか、その過程などのお話にも興味深かったです。
- ・講師の皆様が、着物をはじめ、和裁に対する真摯なお話しをしてくださったことで、子供たちの新しい考え方につながっていったことに感謝ばかりです。家庭科での縫物とは違い、売り物のような美しい袋を縫い、完成させた時の子供たちの達成感に満ちた表情から、「プロの仕事」に対する物の見方や考え方を学べたと感じました。一つ提案として、掃除や片付けは、閉会セレモニーを行った後にすると良いと思います。そうすると、机や椅子の片付けや講師の皆さんのお荷物を運ぶことも生徒が動けたかと思います。

児童生徒の感想

- ・「興味があることは、とことんやることが大切」とおっしゃっていて、自分も興味があることが見つかったらとこなんやついていきたいと思った。
- ・自分では中々作ったりすることがなかったけど、自分でも何か作ってみようかなと思えたし、着付けもとても楽しかったから、浴衣などを着る時があったら、自分でも着てみたいなと思った。
- ・浴衣を自分で着るのは少し難しかったけど、これから自分で着れるようにしたい。
- ・ひも通しが上手くできたなかつたので、家で練習してまた給食袋を作りたい。
- ・浴衣の帯を結ぶのが思った以上に難しかったし、帯の値段が高いもので10万円もするということにびっくりした。
- ・和裁の職人になるためには、資格を取らないとなれないことや、資格は実際に作って、出来ばえで合格か不合格かが決まるということを初めて知った。
- ・浴衣を着て左を上にするのは生きているから心臓を隠さないためで、魚の頭を左にして出すのは、浴衣のそういういた慣習から来ているという話が印象に残った。
- ・色々な時代によって、着物の形状などが違ったり、種類が色々あることが面白いなと思った。

家具製作会場の様子



先生の感想

- ・「初めから木工に関わりたいと思っていたわけではなかったけれど、やり始めてからいろいろな世界が広がり、目標ができた。」というお話に関心をもち、まずはどんなことにも挑戦してみたいという思いを持つことができた。
- ・木はとても固く、曲げることはとても困難で、気を付けなければすぐに折れてしまうと思っていたけど、講師の方のサポートや、曲木の技術を用いることで、比較的簡単に曲げることができた。
- ・家具製作についてだけでなく、どのような経緯でその職業に就いたのかや、やりがいについても語って頂き、生徒の将来の選択肢を広げるよい機会になったと思います。

児童生徒の感想

- ・実際に職場に行って本当の曲木のやり方を見たくなった。
- ・初めてでも、上手くできた。やすりがけを2つの種類のやすりを使い分けてやったり、オイルを何回もつけるなど、たくさん工程があることを知ることができた。
- ・曲木の技術にとても興味を持った。もっと大きい木の場合、どのように曲木をするのか気になった。
- ・去年に続いて2回目も全く同じ物を作ったけど、また学べることが多くあったし、とても楽しかったけど他の物も作ってみたいと思った。
- ・木を曲げることを久しぶりにやってみて、とても不思議な感じでとても楽しかったし、面白かった。
- ・曲木の体験で、木をただ曲げるだけだと折れてしまうが、水分を含ませることで折れずに曲がることが分かった。
- ・今回の体験を踏まえて、将来のことを考えた時、僕は体育教師になろうと思っているけど、木で何かを作るのも達成感があって楽しくて興味を持てたので、これから先の進路に役立てていきたい。
- ・柏木工さんの話を聞いて、お客様のために1つ1つ手作りで丁寧に作っていることが分かり、すごいと思った。

畳製作会場の様子



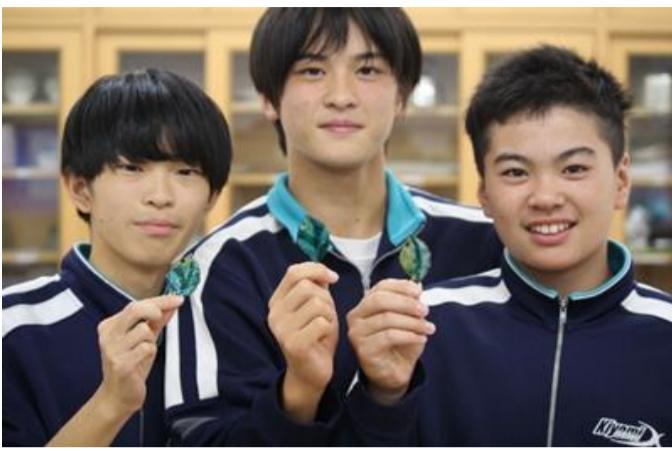
先生の感想

・生徒たちは身近な物でありながらも知らない世界に触れて、終始ワクワクしながら時間を過ごしました。職場体験を行う際に生徒達の選択肢には出てこない職業であるため、貴重な体験や話を聞くことができました。畳に触れることが少ないので畳の魅力や日本の伝統文化や技術の素晴らしさも学べたと思います。ものづくりの素晴らしさや職人の偉大さに触れ、これからの進路選択に幅が広げられたと思います。また、生徒たちが興味をもって取り組んでいる姿を見て、教育者として生徒たちがワクワクする授業を創っていきたいと思いました。

児童生徒の感想

・今の時代は機械を使った製品が多いけど、こういった手作業の製品には温もりがあって、すごい魅力があるなど感じた。
・今回の体験はすごく満足させてもらって、「ああしたかった」などはないけど、本当に来ていただいて話をしてもらってすごくありがたかったし、自分の知らなかつたことを教えてもらってすごく良い機会だった。
・畳の作り方や大変さが、実際手作業でやったことによりよく理解できた。
・畳は「昔」のイメージがあったけど、畳表の色や布の模様など、たくさん種類があって今の時代にも適応していてすごいと思ったし、自分の家の畳も大変な手間がかかっていることが分かった。
・僕は小さな畳を作るのに30分ぐらいかかったのに、職人の人たちは本物の畳を1日に8畳も作ると聞いてすごいと思った。
・畳のへりを縫う時に、糸と糸をつなぐ方法などを教えてもらってびっくりしたし、家にある畳がこんなに難しい作業を経てできていることを改めて知った。
・ミニ畳を作ると、自分のやりたい事、個性の表現もできて充実した時間だった。

貴金属装身具製作会場の様子



先生の感想

- ・自分の特性を理解した上で、職業選択をすることが大切。
- ・好きなことを職業にすると、たとえ心身ともに苦しい時があっても、乗り越えられる。
- ・細かく丁寧な作業が大切。
- ・相手の立場に立って考え、客とのコミュニケーションが大切。
- ・目標をもち、その目標から逆算して、人生設計することが大切。
- ・教育的にも大変有意義な内容でした。日常的に我々が生徒に伝えていることを、講師の方も話してください、ありがとうございました。

児童生徒の感想

- ・貴金属のアクセサリー(七宝焼)を作ってみて楽しかったし、思ったように色が付かなくて面白かった。話を聞いて人との出会いやその関係を大切にすることで、いつか一生打ち込める仕事を見つけるきっかけになるものだと感じた。
- ・七宝焼を体験してすごく楽しかったし、焼く前後で色がかなり変わっていて予想できないところが面白かった。貴金属を曲げるところを実際に見てみたかったけど、本物のダイヤモンドをたくさん見れて嬉しかった。
- ・竹中さんがジュエリーの世界に入った理由が少し意外で、その話をもっと聞いてみたいと思った。
- ・自分の仕事の選択の道が広がったと思う。
- ・1つ1つの仕事で楽なことはなく、仕事の大変さをすごく感じることができた。
- ・もっと色々な種類のアクセサリーを見たかった。その気になれば、どのようなハードスケジュールでも何とかなることが分かった。
- ・七宝焼の出来映えが思っていたよりも良くてびっくりした。焼くのに40～50分くらいかかるかなと思ったが、思ったよりも早く焼き上がって驚いた。
- ・職業は、自分のやりたいことに沿って決めるものだと思っていた。しかし、決め方は軽い気持ちであったとしても、それからの頑張り方次第でより強く、より深いものに変わってくることに気づけた。
- ・講話の中に初めはなんとなく今の仕事を決めたが、色々なきっかけがあって、やってみたら楽しくてやる気が出てきたと話されていて、なんとなくでもまずやってみることが大切なんだなと思った。
- ・七宝焼を作ってみて、ゆう葉を置くときに色のバランスを考えて配置することを心がけた。